

你好♥♥♥♥再見

ニイハオ

サイチエン

笑顔と笑顔で

結ばれた友好の輪



コンテナバース完成式典祝辞



友好港提携記念碑前記念樹に水を注ぐ



友好卓球試合



営口市人民政府での懇談



熱烈歓迎日本國留萌市經濟友好訪問團

営口港務局庁舎前



営口港

今回訪問された方々

- 団長 留萌市助役 梅澤文敏
- 副団長 日中友好留萌市民会議事務局長 野崎良夫
- 副団長 留萌テトラ卓球クラブ会長 佐藤益栄
- 秘書長 留萌市国際親善交流委員会事務局長 横浜勇美
- 団員 日中友好留萌市民会議事務局次長 鈴木正一
- 株式会社交産業役員 越後谷厚史
- 株式会社西田商店社長 西田政雄
- 留萌卓球協会会長 金澤勲
- 留萌テトラ卓球クラブ副会長 金子美加
- 留萌テトラ卓球クラブ副会長 天谷泰子
- 留萌テトラ卓球クラブ会員 北橋智子
- 留萌テトラ卓球クラブ会員 小森谷君子

留萌市と友好港湾都市の提携をしている中国遼寧省営口市の港務局を、去る四月九日から八日間にわたり留萌市卓球、経済友好訪問団（団長・梅澤文敏助役）一行十二名は友好の絆を深めるとともに、経済交流等活発な交流を進め大きな成果を挙げられました。

今回の訪問は、営口港コンテナ・バースの完成式出席と友好港湾提携交流計画事業に基づく交流の一環として、経済関係者とともに市民交流の輪を広げる意味からも、初めて婦人団体による交流の実現させ、共通の趣味を通して理解を得るため留萌テトラ卓球クラブにお願し、卓球による試合を通じて相互に心と心の疎通を深めていただきました。

その後の懇談会では、国情や人種を越えて日常生活の問題、子育て、服装のことなど婦人ならではの問題に話題が集中していました。

卓球の交換試合は、営口市港務局の選抜チームと対戦し、5対1で留萌テトラクラブが圧倒的な勝ちを納めました。始めから勝負にこだわらずに交流目的であることから和気あいあいの中で試合が進められました。

また、営口バースの完成は、営口港は中国東北部の玄関口である大連港の取扱貨物の増大に伴い、第二港湾としての位置づけがされ今日では大きく脚光を浴びている港湾です。

さらに国際的流通の貨物輸送方式はコンテナ輸送が主流を占めつつあることから、バースの整備が急ピッチで進められ計画では四十八バース、年間取扱量は四千万トンを目指しているとのことでした。

経済懇談では、合併企業の要望が強く出されましたが、留萌市の経済実情、取扱品目も含めた情報の交換を進めていく事としました。

今後の交流計画では、今日の中国はあらゆる技術の導入に積極的でも重機、土木、電気といった技術者養成が重視されていることから、研修生の派遣が強く望まれ今後の交流事業の中で実現をはかることを確認しました。

今回の訪問団には、民間の方々、特に婦人の参加が大きな成果を得たことから留萌市国際交流親善委員会としても、さらに参加範囲の拡大と派遣の機会を増やし多くの市民の方々に参加していただく計画です。